

くすりのしおり

内服剤

2019年02月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：イムラン錠 50mg [クローン病・潰瘍性大腸炎・自己免疫性肝炎]

主成分：アザチオプリン (Azathioprine)

剤形：淡黄白色の錠剤、直径 7.4mm、厚さ 3.0mm

シート記載：（裏）Imuran、イムラン 50mg、GXCH1



この薬の作用と効果について

核酸合成を阻害することにより免疫抑制作用をあらわします。クローン病の症状再燃を抑えながら併用されるステロイドの減量を可能にしたり、ステロイドの使用により病状が治まった場合に、その期間（緩解期）をより長く保ったり、自己免疫性肝炎の症状を抑える作用があります。

通常、ステロイド依存性のクローン病の緩解導入および緩解維持、ステロイド依存性の潰瘍性大腸炎の緩解維持、自己免疫性肝炎の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。白血球数が 3,000/mm³ 以下である。骨髄機能抑制、感染症、出血性素因、肝機能障害、腎不全、水痘がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人および小児は、1日量として主成分 1~2mg/kg 相当量（通常、成人は 50mg~100mg）を服用します。本剤は 1錠中に主成分 50mg を含有します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は気がついた時に 1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に 1回分を飲んでください。絶対に 2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・日光や紫外線による皮膚癌の危険性を避けるため、UVカット素材の衣類や日焼け止め効果の高いサンスクリーンを使用し、日光や紫外線を避けるようにしてください。
- ・骨髄機能の低下や、肝機能障害などの重篤な副作用があらわれることがあります。飲み始めは原則として 1~2 週間に一度、その後も頻回に血液、肝臓、腎臓などの働きを調べることがあります。その場合には指定された日時に検査を受けてください。
- ・妊娠する可能性がある人またはパートナーが妊娠する可能性のある男性は医師に相談してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、血管炎、腎機能障害、全身倦怠感、筋痛、関節痛、発熱、寒気、めまい、下痢などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・貧血症状、出血症状、発熱 [再生不良性貧血、汎血球減少などの血液障害]
- ・寒気、震え、立ちくらみ [ショック様症状]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]
- ・発熱、から咳、呼吸困難 [間質性肺炎]
- ・意識障害、麻痺症状、言語障害 [進行性多巣性白質脳症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。